

謡曲・平家物語紀行・下

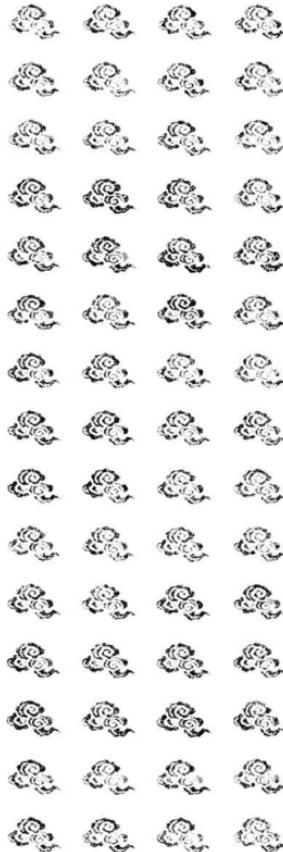
白洲正子



歴史と文学の旅

・平凡社

源氏物語紀行・下  
白华子



## 白洲正子（しらすまさこ）

1910年（明治43年）東京生まれ。  
女子学習院、ハートリッジスクール（アメリカ）卒。  
著書に「花と幽玄の世界」「古典の細道」「お能の見かた」など。なお、「能面」「かくれ里」で各々読売文学賞受賞。

---

## 歴史と文学の旅 謡曲平家物語紀行・下

昭和48年12月20日 初版第1刷発行

著 者 白洲正子

発行者 下中邦彦

発行所 株式会社 平凡社

東京都千代田区四番町 4 番地 1

郵便番号 102 振替 東京 29639

電話東京 (03) - 265 - 0451

印 刷 株式会社東京印書館

フォト印刷株式会社

製 本 和田製本工業株式会社

---

© 白洲正子 1973

不良本のお取替えは直接小社サービス課まで  
(送料は小社負担)

謡曲 平家物語紀行・下  
白洲正子



## 目次

# 謡曲・平家物語紀行・下

恋の音取——左中将清経

旅宿の花——梶原源太景季

旅宿の花——薩摩守忠度

青山の琵琶——但馬守経正

青葉の笛——無官大夫敦盛

王朝の美女——小宰相の局

千手の前——三位中将重衡

藤戸の渡り——佐々木三郎盛綱

八島の合戦——九郎判官義経

船弁慶——新中納言知盛

日向の勾当——悪七兵衛景清

大原御幸——建礼門院

●コースガイド

## 謡曲・平家物語の舞台・下

- 1 公達の最期
- 2 屋島の合戦
- 3 壇ノ浦の落日
- 4 滅亡のあとに

●コラム

- 千載集

熊谷陣屋

平家蟹

耳なし芳一

太宰府その他

屋島その他

●地図

●旅館案内

あとがき



「清経」——扇を楯に擬し剣を抜いて戦う場面



宇佐神宮(大分県)。伊勢に次ぐ社として古来より崇敬されてきた





経正の挿話を伝える竹生島（滋賀県）と前頁は太宰府都府樓跡（福岡県）



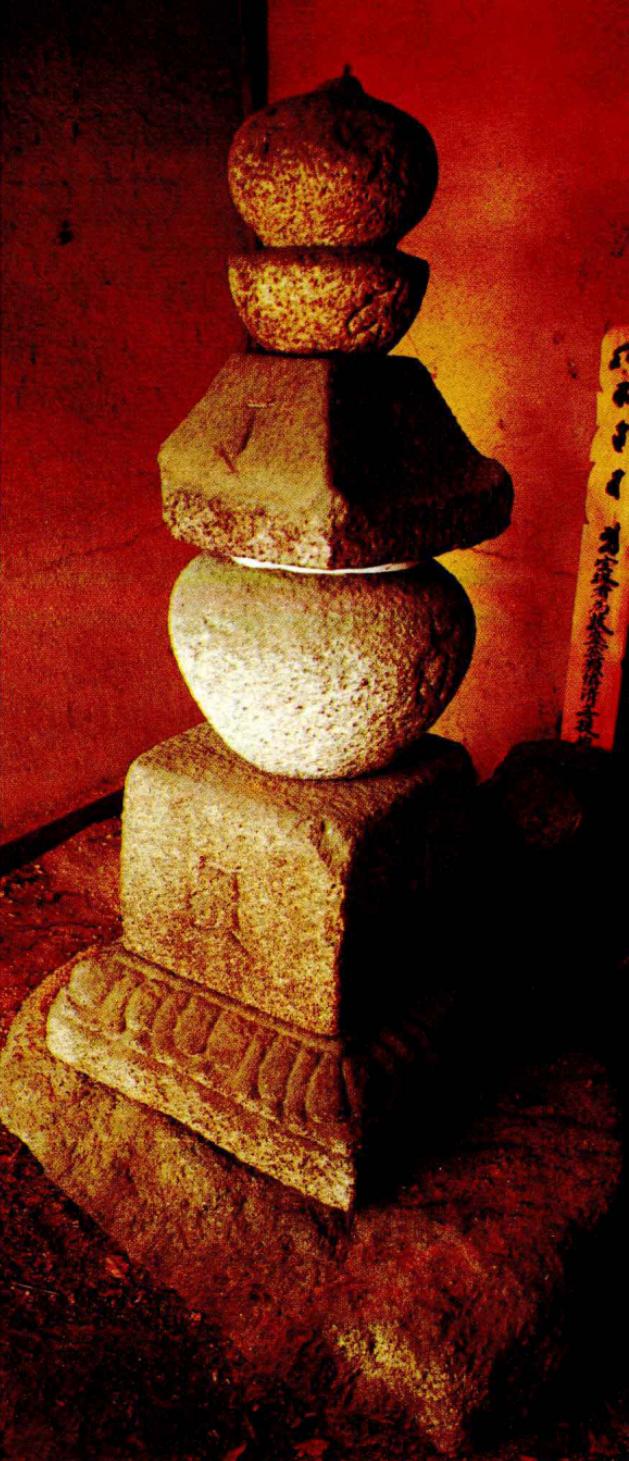
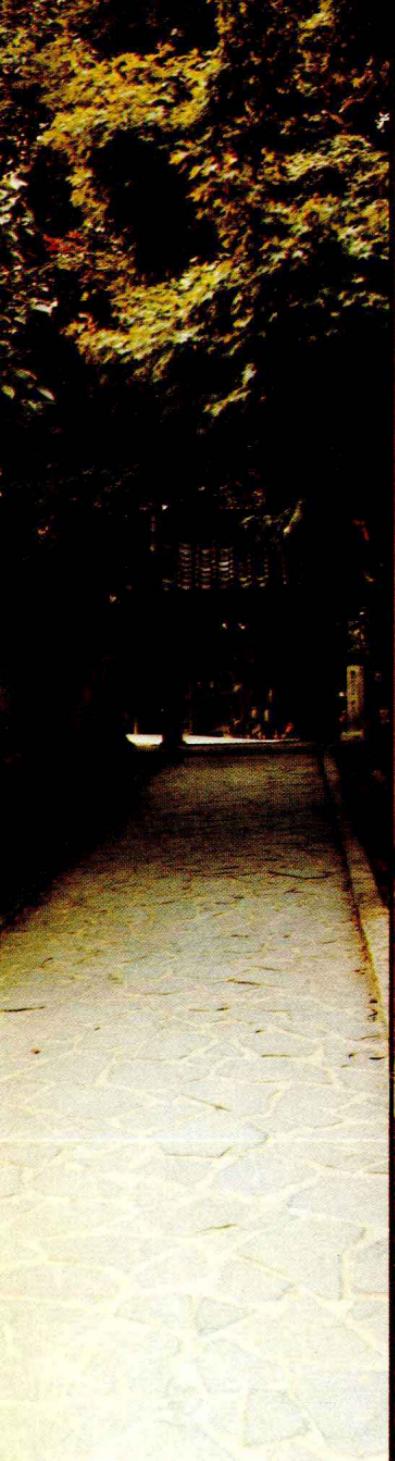
此为试读,需要完整PDF请访问: [www.ertongbook.com](http://www.ertongbook.com)



忠度の墓(深谷市・前頁)と六弥太の墓所(岡部町)。さして遠くない町に敵同志は眠る

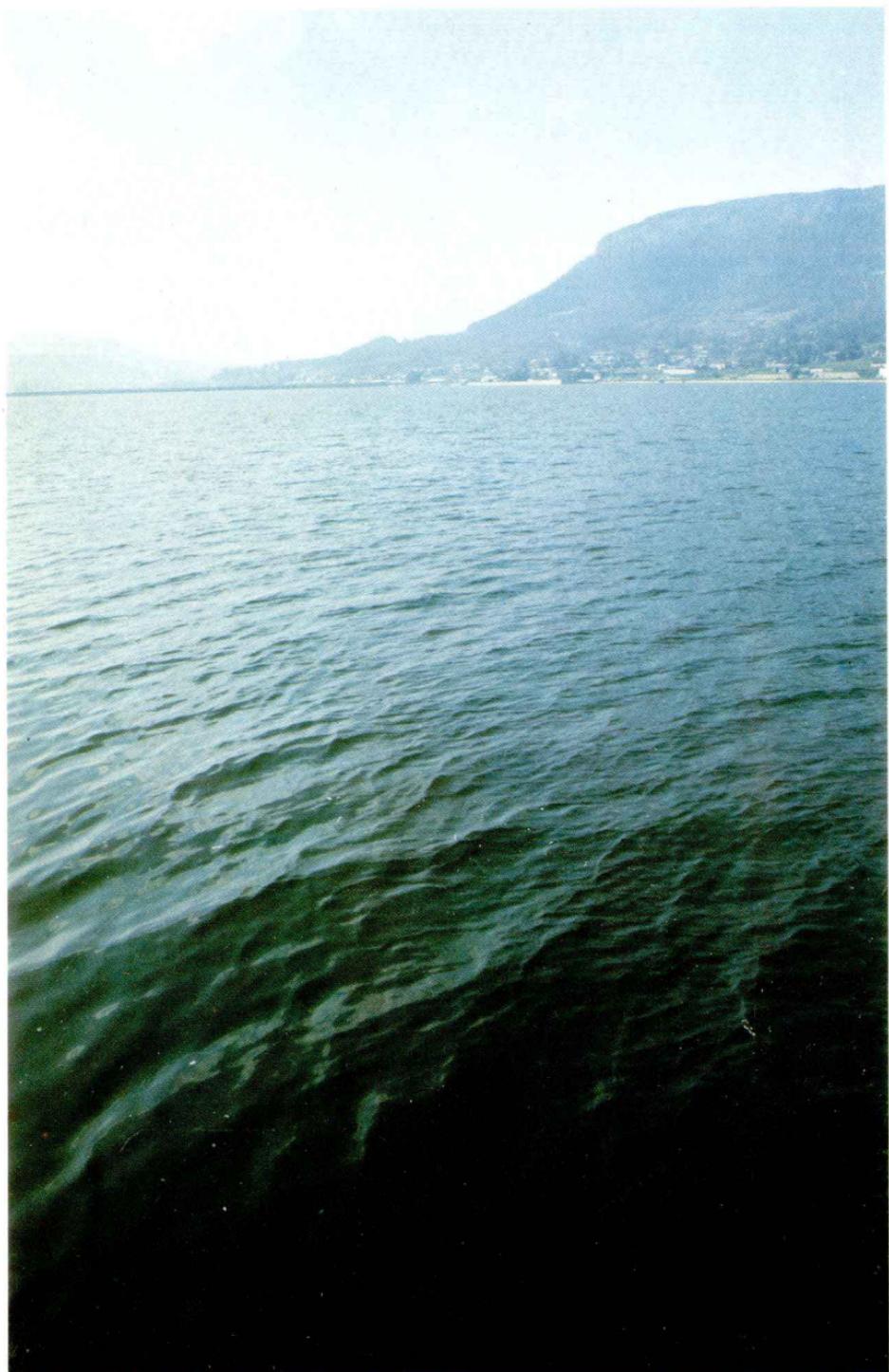


熊谷寺(熊谷市)の直実の墓所



須磨寺(神戸市)は一ノ谷に近く、敦盛の墓、青葉の笛などがある





源平合戦の華麗な挿話を残す屋島(高松市)と前頁は藤戸(倉敷市)経ヶ島の供養塔



此为试读,需要完整PDF请访问: [www.ertongbook.com](http://www.ertongbook.com)